

『鷺巣敦哉著作集』V（「雑誌所収著作」：緑蔭書房、平成12年12月10日刊）、
同別巻（「警察試験叢書・雑誌所収著作補遺・索引」：同、平成14年
1月31日刊）及び『鷺巣敦哉著作集 補遺 警察試験叢書（続）・
雑誌所収著作補遺（続）・索引』（同、平成26年7月31日刊）

所収論稿一覧（四訂稿）

—日本統治下台湾警察史の一齣—

（令和4（2022）年7月28日（木）現在）

（補正経緯）

平成12（2000）年9月10日（日）初稿作成

平成15（2003）年11月1日（土）改訂稿作成

（HP初出）：平成20（2008）年1月27日（日）改訂稿第一次補正稿
⇒即再訂稿作成

平成26（2014）年11月16日（日）三訂稿作成

（改題、一部補正、追加）

令和4（2022）年7月28日（木）四訂稿作成

（レイアウト全面変更、一部補正、追加）

（作成経緯）

・本稿は、『鷺巣敦哉とその時代（続輯（写真・資料篇））—日本統治下台湾警察史雑纂
第五輯一』（自己出版、平成15年11月1日刊）28～42頁掲載の「『鷺巣敦哉著作集』
V（「雑誌所収著作」：緑蔭書房、平成12年12月10日刊）、同別巻（「警察試験叢書・
雑誌所収著作補遺・索引」：同、平成14年1月31日刊）参考資料—鷺巣敦哉の『台湾警
察協会雑誌』及び『台湾警察時報』への寄稿一覧—」を再改訂しつつあるものである。『鷺
巣敦哉著作集』V及び同別巻検討の一助ともなれば幸いである。

・その後平成26（2014）年夏刊行の『鷺巣敦哉著作集 補遺 警察試験叢書（続）・雑誌
所収著作補遺（続）・索引』（緑蔭書房、平成26年7月31日刊）に基づき、更に補正し
た。併せ、表題を標記に改めた。 （平成26年11月16日追加）

・鷺巣敦哉氏につき、下記本HP別稿参照。 （平成26年11月16日一部補正）

・「法制史学者著作目録選」

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/Historian2003.htm>〉

・「鷺巣敦哉と『台湾総督府警察沿革誌』の編纂について—日本統治下台湾警察史の一
齣—」

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/washisu001.pdf>〉

・「鷺巣敦哉氏著作目録抄—日本統治下台湾警察史の一齣—」

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/washisu002.pdf>〉

- ・「『鷺巣敦哉著作集 補遺』（緑蔭書房、平成 26 年 7 月 31 日刊）概要」
(<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/washisu003.pdf>)

〔凡 例〕

- ① 『台湾警察協会雑誌』及び『台湾警察時報』の全体内容については、中島利郎・林原文子編『『台湾警察協会雑誌』『台湾警察時報』総目録』（緑蔭書房、平成 10 年 8 月 25 日刊）参照。両誌は一時期台湾で復刻されるといわれたが、最終的には国立中央図書館台湾分館（現国立台湾図書館）所蔵本を基に、マイクロ資料「『台湾警察協会雑誌』第 1 号～第 149 号（大正 6 年～昭和 4 年）、『台湾警察時報』第 1 号（通巻第 150 号）～第 335 号（昭和 5 年～昭和 18 年。昭和 5 年より『台湾警察時報』に改名。欠号、第 326～328 号） 28 リール 16mm 国立中央図書館台湾分館員工消費合作社 2002 年刊（日本代理店）雄松堂」として刊行された。
- ② 鷺巣敦哉氏の『台湾警察協会雑誌』及び『台湾警察時報』への寄稿論稿を、「目次」のように分類して掲載した。両誌号数別一覧については、中島利郎編「鷺巣敦哉著作目録」（『鷺巣敦哉著作集』V（雑誌所収著作、緑蔭書房、平成 12 年 12 月 10 日刊）解説 9～20 頁）参照。ただし、一部に追加、訂正事項があり、本稿には、まずそれを記載した（I 参照。）。
- ③ 連載物としては、「警察講習所だより」、「警察漫想」、「練習所通信」、「談話室」、「手文庫より」、「台警今昔物語」、「茶のみ話」、「道聴塗説」及び「警察界道聴塗説」があるが、本稿では、それぞれ毎に誌した。連載物以外は、「一般」と「ラジオ（ラヂオ）風景」に分けた。
- ④ 連載物については、出来るだけそれぞれの小目次を入れるように努めたが、代表的なものに止めざるをえなかったものが多い。
- ⑤ 執筆者名が「鷺巣敦哉」又は「鷺巣生」の場合は何も誌さず、その他の場合はそれ（例：AW 学人）を誌した。
- ⑥ 鷺巣敦哉『警察生活の打明け物語』（自己出版、昭和 9 年 2 月 15 日刊。『鷺巣敦哉著作集』I（緑蔭書房、平成 12 年 12 月 10 日刊、以下『I』という。））の基になったものには※印を付け、同書該当頁数を記載したが、未だ検討不足である。
- ⑦ 「IV 『警察生活の打明け物語』（昭和 9 年 2 月 15 日刊）に見たる『台湾警察協会雑誌』及び『台湾警察時報』該当号」を付けたが、これもなお不十分なものである。
- ⑧ それぞれに、『鷺巣敦哉著作集』V、同別巻（緑蔭書房、平成 14 年 1 月 31 日刊）（以下各『V』、『別』という。）収録頁数を記載した。
- ⑨ 平成 26 年夏刊行の『鷺巣敦哉著作集 補遺 警察試験叢書(続)・雑誌所収著作補遺(続)・索引』（緑蔭書房、平成 26 年 7 月 31 日刊）（以下『補遺』という。）に基づき、一部補正した。（平成 26 年 11 月 16 日追加）
- ⑩ 『台湾警察時報』の第 1 号～第 56 号（昭和 5 年 1 月刊～昭和 7 年 12 月刊。半月刊）の通巻は第 150 号～第 205 号になる。第 206 号（昭和 8 年 1 月刊）以後は通巻でのみ表示されている（IV（参考）「『台湾警察時報』第 1 号～第 56 号・通巻第 150 号～第 205 号換算表」参照。）。

〔目 次〕

I 中島利郎編「鷺巣敦著作目録」（『鷺巣敦哉著作集』V所収。以下「目録」。）追加・訂正 ……………4

- (1) 追加分 ……………4
- (2) 訂正分 ……………4

II 『台湾警察協会雑誌』（鷺巣敦哉：大正6（1917）年1月巡查拝命～昭和4（1929）年12月） ……………5

- (1) 一般 ……………5
- (2) 「警察漫想」 ……………5
- (3) 「学苑練習所だより」 ……………5
- (4) 「警察講習所だより」 ……………6

III 『台湾警察時報』（鷺巣敦哉：昭和5（1930）年1月～同17（1942）年3月逝去） 6

- (I) 在官中（昭和5年1月～同7年1月16日退官） ……………6
 - (1) 一般 ……………6
 - (2) 「警察漫想」 ……………6
 - (3) 「練習所通信」 ……………7
 - (4) 「談話室」 ……………9
- (II) 退官後（昭和7（1932）年1月17日～昭和17（1942）年3月29日（逝去）） 9
 - 1 『警察生活の打明け物語』刊行以前（昭和7年1月17日～同9年2月15日） 9
 - (1) 一般 ……………10
 - (2) 「手文庫より」 ……………10
 - (3) 「台警今昔物語」 ……………11
 - 2 『警察生活の打明け物語』刊行以降（昭和9年2月16日～同17年3月29日逝去） ……………11
 - (1) 一般 ……………11
 - (2) 「茶のみ話」 ……………12
 - (3) 「道聴塗説」 ……………12
 - (4) 「警察界道聴塗説」 ……………14
 - (5) 「ラジオ（ラヂオ）風景」 ……………14

IV 『警察生活の打明け物語』（昭和9年2月15日刊）に見たる『台湾警察協会雑誌』及び『台湾警察時報』該当号 ……………14

- （参考）『台湾警察時報』第1号～第56号・（通巻）第150号～第205号換算表 ……15
- 【附録】本HP掲載鷺巣敦哉氏関係資料一覧……………15

I 中島利郎編「鷺巣敦著作目録」（『鷺巣敦哉著作集』V所収。以下「目録」。）追加・訂正

(1) 追加分

これらについては、『鷺巣敦哉とその時代—日本統治下台湾警察史雑纂第四輯—』（平成15年8月1日刊）（以下『四輯』という。）に、「〔特別収録〕：『鷺巣敦哉著作集』補遺続集（第一輯）」の形で採録してある。

更にその後平成26（2014）年夏刊行の『鷺巣敦哉著作集 補遺 警察試験叢書（続）・雑誌所収著作補遺（続）・索引』（緑蔭書房、平成26年7月31日刊）（以下『補遺』という。）に再録した。（平成26年11月16日追加）

（①～④、「目録」該当頁：12頁）

- ① 台中州警部補 AW 学人「警察官の立場から」（『台湾警察協会雑誌』第80号（大正13年1月25日刊）77－80頁。）（『四輯』1頁以下）（『補遺』230頁以下）
- ② 台中州警部補 AW 学人「公娼廃止是非論」一：『台湾警察協会雑誌』第82号（大正13年3月25日刊）45－49頁。）（『四輯』6頁以下）（『補遺』235頁以下）
- ③ 台中州警部補 AW 学人「戸口事務移管に就て」（『台湾警察協会雑誌』第88号（大正13年9月25日刊）92－95頁。）（『四輯』11頁以下）（『補遺』240頁以下）
- ④ 練習所教官鷺巣敦哉「外勤警察を論じ郡警察制度に及ぶ」（第13回懸賞論文2等（第2席）、銀牌＝副賞金拾円。『台湾警察協会雑誌』第147号（昭和4年9月1日刊）146－153頁。但し、当選発表は同146号（昭和4年8月1日）183頁に掲載。）（『四輯』15頁以下）（『補遺』245頁以下）

（⑤、「目録」該当頁：17頁）

- ⑤ 鷺巣生「時局下の内地旅行漫談」（『台湾警察時報』第297号（昭和15年8月5日刊）16－21頁。但し、17－21頁分は削除、破棄されている。その理由について『台湾警察時報』第298号（昭和15年9月10日刊）30頁（『鷺巣敦哉著作集』V469頁）参照。）（『四輯』27頁）（『補遺』256頁）

(2) 訂正分

（「目録」該当頁：13頁）

- ① 『台湾警察時報』第10号（通巻第159号、昭和5年5月15日刊）36頁の「練習所通信」はその後発見、別巻294頁に収録。
- ② 『台湾警察時報』第11号（通巻第160号、昭和5年6月1日刊）9頁の「警察漫想」はその後発見、別巻298頁に収録。
- ③ 同11号35頁の「練習所通信」はその後発見、別巻300頁に収録。

（「目録」該当頁：14頁）

- ④ 『台湾警察時報』第17号（通巻第166号、昭和5年10月1日刊）は、（昭和5年9月15日刊）の誤植。

（『台湾警察協会雑誌』『台湾警察時報』総目録』該当頁：296頁）

- ⑤ 『台湾警察時報』第25号（通巻第174号、昭和6年2月1日刊）の「警察漫想」は誤

植のため削除。

II 『台湾警察協会雑誌』（鷺巣敦哉：大正6年1月巡查拝命～昭和4年12月）

(1) 一般

- ① 第26号（大正8/7/25：大正8年7月25日刊のこと。以下同じ。）28頁、V5頁
昇任に際して警備線員の覚悟を論ず
- ② 第80号（大正13/1/25）77頁、『四輯』1頁、『補遺』230頁
（台中州警部補AW学人）警察官の立場から
- ③ 第82号（大正13/3/25）92頁、『四輯』6頁、『補遺』235頁
（台中州警部補AW学人）公娼廃止是非論
- ④ 第88号（大正13/9/25）92頁、『四輯』11頁、『補遺』240頁
（台中州警部補AW学人）戸口事務移管に就て
- ⑤ 第94号（大正14/4/1）110頁、V8頁
本島警察の特質を論ず（第7回懸賞論文第三等賞）
- ⑥ 第130号（昭和3/4/1）151頁、V14頁
普選劈頭の総選挙を終わりにて
- ⑦ 第139号（昭和4/1/1）153頁、V24頁
所謂名署長の面影
- ⑧ 第147号（昭和4/9/1）146号、『四輯』15頁、『補遺』245頁
外勤警察を論じ郡警察制度に及ぶ（第13回懸賞論文2等〈第二席〉、銀牌＝副賞金拾円。）

(2) 「警察漫想」

- ① 第148号（昭和4/10/1）28頁、V27頁
ゆはれ一言。十年一昔。十年かゝつて。席暖る違なし。短い寿命。新陳代謝振り。練習所に入りて。法学士中野巖君。
- ② 第149号（昭和4/11/1）41頁、V34頁
吾村の巡查さん。駐在巡查の側面観察。収入その他。巡查さんの悲哀。鬼門＝投票予想。所謂政治警察とは。珍答案の発表。賊と軍人と巡查と。彼れの躍進振り。巡查諸氏の読書趣味。

(3) 「学苑練習所だより」 ⇒150号以降は「練習所通信」に移行。

（「別」は「別巻」）

- ① 第49号（昭和4/11/1）174頁、別261頁
おことわり。森田（俊介）教官内地へ。特科生卒業。神田（利吉）教官の警務局入り。山木（毅一郎）嘱託の栄誉。練習生の退所。甲科生の白鉢巻き。教官の多忙。第一

班の編成（第 165 回生、第 38 回司獄官）

(4) 「警察講習所だより」

- ① 第 125 号（昭和 2/11/1）206 頁、別 197 頁
- ② 第 126 号（昭和 2/12/1）218 頁、別 201 頁
- ③ 第 128 号（昭和 3/2/1）223 頁、別 207 頁
- ④ 第 129 号（昭和 3/3/1）216 頁、別 220 頁
- ⑤ 第 130 号（昭和 3/4/1）184 頁、別 226 頁
- ⑥ 第 131 号（昭和 3/5/1）206 頁、別 237 頁
- ⑦ 第 132 号（昭和 3/6/1）206 頁、別 246 頁

Ⅲ 『台湾警察時報』（鷺巣敦哉：昭和 5 年 1 月～昭和 17 年 3 月逝去）

(I) 在官中（昭和 5（1930）年 1 月～同 7（1932）年 1 月 16 日退官）

(1) 一般

- ① 第 13 号（通巻 162 号、昭和 5/7/15）4 頁、V73 頁
吾人警察は私生活上に如何なる心得を必要とするか（第 17 回懸賞論文第二等賞）。
- ② 第 27 号（通巻 176 号、昭和 6/3/1）30 頁、V95 頁
嗚呼！兵頭（守）、藤間（暢）両君（註：両氏は霧社事件殉職者）
- ③ 第 34 号（通巻第 183 号、昭和 6/6/15）40 頁、V101 頁
警察が不親切で、威張る。

(2) 「警察漫想」

- ① 第 1 号（通巻第 150 号）（昭和 5/1/1）8 頁、V43 頁
服装問題のいろゝゝ。文官服の問題。その他。
- ② 第 2 号（通巻第 151 号）（昭和 5/1/15）8 頁、V46 頁
吾等の警察雑誌論。その他。滞京雑感（上）。
- ③ 第 3 号（第通巻 152 号）（昭和 5/2/1）6 頁、V50 頁
甲科生の卒業頃。各州法規の統一へ。巡査採用試験地獄。その他。
- ④ 第 4 号（通巻第 153 号）（昭和 5/2/15）10 頁、V54 頁
滞京雑感（下）
- ⑤ 第 5 号（通巻第 154 号）（昭和 5/3/1）
不掲載
- ⑥ 第 6 号（通巻第 155 号）（昭和 5/3/15）12 頁、V58 頁
世界一の警察官。臨監は蔭から。試験ぜめ。その他。

- ⑦ 第7号（通巻第156号）（昭和5/4/1）13頁、V61頁
警察教養の問題。巡査の職は勤るから。その他。
- ⑧ 第8号（通巻第157号）（昭和5/4/15）10頁、V65頁
敢て甲科卒業生諸君へ。趣味の強要。その他。
- ⑨ 第9号（通巻第158号）（昭和5/5/1）
不掲載
- ⑩ 第10号（通巻第159号）（昭和5/5/5）9頁、V69頁
一般教養の実績。外勤部長の指導力。警察雑誌の利用。新任教養は州で。その他。
- ⑪ 第11号（通巻第160号）（昭和5/6/1）9頁、別298頁（註：後に発見されたため、Vには収録できず。）
説教帰りの下駄泥棒、警察官に休養を。その他。
- ⑫ 第12号（通巻第161号）（昭和5/7/1）
不掲載
- ⑬ 第13号（通巻第162号）（昭和5/7/15）10頁、V77頁（※137～162頁）
巡査部長巡査××××。所謂二重監督制度。振はざる本島巡査部長さん。その他。
- ⑭ 第14号（通巻第163号）（昭和5/8/1）8頁、V79頁
吾々の同期生物語（※2～33頁、163～182頁）。
- ⑮ 第15号（通巻第164号）（昭和5/8/15）7頁、V82頁
近來の痛快事。頼もしき巡査。その他。
- ⑯ 第16号（通巻第165号）（昭和5/9/1）7頁、V84頁（※137～162頁）
先ず本人の自覚（巡査部長論続き）。制度の改善。待遇の改善。その他
- ⑰ 第17号（通巻第166号）（昭和5/9/15）9頁、V87頁
巡査受難時代。無頼漢横行時代。「警部で十年待て」。その他。
- ⑱ 第18号（通巻第167号）（昭和5/10/1）
不掲載
- ⑲ 第19号（通巻第168号）（昭和5/10/15）
不掲載
- ⑳ 第20号（通巻第169号）（昭和5/11/1）5頁、V89頁
「巡査のクセニ」（※59～61頁）。畏友高橋（實吉）君。その他。
- ㉑ 第21号（通巻第170号）（昭和5/11/15）170頁、V91頁
一応擱筆の辞。練習生になってから。練習所生活の追憶。かうなつては。その他。

(3) 「練習所通信」

（註：「練習所通信」の担当を外れた経緯については『警察生活の打明け物語』353、354頁参照。）

- ① 第1号（通巻第150号）（昭和5/1/1）47頁、別269頁
私の上京。明治節拝賀式。その他。
- ② 第2号（通巻第151号）（昭和5/1/15）46頁、別273頁

職員の異動。練習所の新陣容。その他。

③ 第3号（通巻第152号）（昭和5/2/1）32頁、別276頁
練習所のお正月。発火演習。教習班入所。その他。

④ 第4号（通巻第153号）（昭和5/2/15）36頁、別277頁
巡査部長再教習。甲特科生採用風紀問題。その他。

⑤ 第5号（通巻第154号）（昭和5/3/1）36頁、別279頁
壮丁団来所。第一班司獄官卒業式。その他。

⑥ 第6号（通巻第155号）（昭和5/3/15）34頁、V281頁（註：V収録不足分については『四輯』24頁以下に収録。）

甲特科生筆記試験合格者発表。安達謙蔵練習生（註：ここには「鷲巣敦哉」の読み方が話されている。）。その他。

⑦ 第7号（通巻第56号）（昭和5/4/1）42頁、別285頁
陸軍記念日〈ママ〉の一日。特科班会。その他。

⑧ 第8号（通巻第157号）（昭和5/4/15）37頁、別287頁
巡査部長さんの答案。卒業式デー（註：昭和5年3月27日。I口絵③参照）。その他。

⑨ 第9号（通巻第158号）（昭和5/5/1）38頁、別292号
甲特科入所式。杜（天賜、台湾語担当）教官の退職。その他。

⑩ 第10号（通巻第159号）（昭和5/1/15）36頁、別294頁
甲科生修了試験問題。甲科生の種々相。その他。

⑪ 第11号（通巻第160号）（昭和5/6/1）35頁、別300頁
建功神社参拝。本島募集練習生の素質。その他。

⑫ 第12号（通巻第161号）（昭和5/7/1）86頁、別303頁
剣道試合。水泳始め。その他。

⑬ 第13号（通巻第162号）（昭和5/7/15）37頁、別304頁
教職員消息。本島募集練習生の素質（承前）。木村（貞次郎）教官の不幸。その他。

⑭ 第14号（通巻第163号）（昭和5/8/1）42頁、別307頁
特科生の修学旅行。三班修業式。創立記念日。統計から見た島内巡査志願者。
その他。

⑮ 第15号（通巻第164号）（昭和5/8/15）41頁、別310頁
島内志願者の二次試験。7月の定期採用試験。その他。

⑯ 第16号（通巻第165号）（昭和5/9/1）33頁、別311頁
第三班入所。若干の改正。その他。

⑰ 第17号（通巻第166号）（昭和5/9/15）37頁、別313頁
対オール警務局野球戦。第四班入所。その他。

⑱ 第18号（通巻第167号）（昭和5/10/1）31頁、別315頁
練習生の抜劔問題。名物床屋目黒君を弔ふ。その他。

⑲ 第19号（通巻第168号）（昭和5/10/15）
不掲載

⑳ 第20号（通巻169号）（昭和5/11/1）26頁、別317頁

乙科第五班入所。伊藤（英三）教官栄転。その他。

㊤ 第 21 号（通巻第 170 号）（昭和 5/11/15）33 頁、別 321 頁
練習所の近況。四班の感想二つ。その他。

(4) 「談話室」

（註：「練習所通信」と重複のものあり。「交話」も一部収録。）

① 第 1 号（通巻第 150 号）（昭和 5/1/1）49 頁、別 271 頁
練習所名物（「某甲科生」執筆とあるが、第 18 号 31 頁（別 315 頁）で驚巢のことと判明。）

② 第 2 号（通巻第 151 号）（昭和 5/1/15）48 頁、別 274 頁
（交話）お芽出度う一卒業生諸氏へ

③ 第 4 号（通巻第 153 号）（昭和 5/2/15）38 頁、別 278 頁
叔父さん達（註：巡査部長のこと）の到来。

④ 第 9 号（通巻第 158 号）（昭和 5/5/15）39 頁、別 293 頁
巡査の卵の見た巡査の非行。

⑤ 第 10 号（通巻第 159 号）（昭和 5/5/15）37 頁、別 296 頁
甲科生の種々相。

⑥ 第 11 号（通巻第 160 号）（昭和 5/6/1）36 頁、別 301 頁
本島募集練習生の素質。

⑦ 第 13 号（通巻第 162 号）（昭和 5/7/15）38 頁
安達謙蔵君の感慨。本島募集練習生の素質（承前）。その他。

⑧ 第 14 号（通巻第 163 号）（昭和 5/8/1）43 頁、別 308 頁
統計から見た島内巡査志願者。

⑨ 第 21 号（通巻第 170 号）（昭和 5/11/15）33 頁、別 321 頁
四班の感想二つ。

⑩ 第 29 号（通巻 178 号）（昭和 6/4/1）38 頁、別 322 頁
この意気を推奨す。（※27～29 頁）

⑪ 第 31 号（通巻 180 号）（昭和 6/5/1）46 頁、V98 頁
何ぞその警察生活の短き。

(II) 退官後（昭和 7（1932）年 1 月 17 日～同 17（1942）年 3 月 29 日（逝去））

1 『警察生活の打明け物語』刊行以前（昭和 7 年 1 月 17 日～同 9 年 2 月 15 日）

(1) 一般

① 第 47 号（通巻第 196 号）（昭和 7/3/1）168 頁、V103 頁
お別れの言葉（※357～360 頁）

② 第 209 号（昭和 8/4/1）33 頁、V159 頁

本誌の初号より繰って見て

③ 第 218 号 (昭和 9/1/1) 218 頁、V204 頁

土匪昔ばなし

④ 第 297 号 (昭和 15/8/5) 16 頁、『四輯』 27 頁、『補遺』 256 頁

時局下の内地旅行漫談 (註: 本来『台湾警察時報』 297 号 (昭和 15 年 8 月 5 日刊) 16～21 頁に掲載のところ、17～21 頁分は削除、破棄されている。その理由について『台湾警察時報』第 298 号 (昭和 15 年 9 月 10 日刊) 30 頁 (『鷺巣敦哉著作集』V469 頁) 参照。)

(2) 「手文庫より」

(註: 表題の番号は不統一である。※: 『鷺巣敦哉著作集』 I。)

① 第 47 号 (通巻第 196 号) (昭和 7/3/1) 101 頁、105 頁

(1) 身軽になって (辞表提出。その他。)。 (※355～363 頁)

② 第 48 号 (通巻第 197 号) (昭和 7/4/1) 106 頁、110 頁

(2) 巡査時代の思出 (※1～135 頁)

③ 第 49 号 (通巻第 198 号) (昭和 7/5/1) 107 頁、V114 頁

(2) 巡査時代の思出 (続) (※同)

④ 第 50 号 (通巻第 199 号) (昭和 7/6/1) 89 頁、V118 頁

(2) 巡査時代の思出 (ママ) (※同)

⑤ 第 51 号 (通巻第 200 号) (昭和 7/7/1) 57 頁、V121 頁

(2) 巡査時代の思出 (つゞき) (※同)

⑥ 第 52 号 (通巻第 201 号) (昭和 7/8/1) 78 頁、V124 頁

(2) 警部補になって (※185～216 頁)

⑦ 第 53 号 (通巻第 202 号) (昭和 7/9/1) 131 頁、V128 頁

(2) 警部補になって (続) (※185～216 頁)

⑧ 第 54 号 (通巻第 203 号) (昭和 7/10/1) 88 頁、V132 頁

(2) 警部補になって (続) (※185～216 頁)

⑨ 第 55 号 (通巻第 204 号) (昭和 7/11/1) 86 頁、V136 頁

(2) 警部補になって (続) (※185～216 頁)

⑩ 第 212 号 (昭和 8/7/1) 125 頁、V176 頁

(3) 警部さんの表裏 (※239～284 頁)

⑪ 第 213 号 (昭和 8/8/1) 93 頁、V181 頁

(3) 警部さんの表裏 (続) (※239～284 頁)

⑫ 第 215 号 (昭和 8/10/1) 96 頁、V185 頁

(4) 台中警察署時代の思出 (※285～312 頁)

沿革誌の一編を脱稿して (※402～408 頁)

⑬ 第 216 号 (昭和 8/11/1) 107 頁、V192 頁

(4) 台中警察署時代の思出 (続) (※三 285～312 頁)

⑭ 第 217 号 (昭和 8/12/1) 93 頁、V197 頁

(4) 台中警察署時代の思出（続）（※285～312頁）

(3) 「台警今昔物語」

① 第56号（通巻第205号）（昭和7/12/1）86頁、V140頁：（1）

(1) はしがき＝沿革史〈ママ〉の編纂に従うて

(2) 警察拡張秘史—後藤（新平）長官の頑張り

② 第206号（昭和8/1/1）125頁、V145頁：（2）

(3) 台湾警察の誕生前後

③ 第208号（昭和8/3/1）105頁、V154頁：（3）

(4) 警吏から警部補まで（本島人警察官発展の跡）

④ 第211号（昭和8/6/1）130頁、V170頁：（4）

(5) 首脳者の在任調べ

2 『警察生活の打明け物語』刊行以降（昭和9年2月16日～同17年3月29日逝去）

(1) 一般

① 第219号（昭和9/2/1）91頁、V211頁

警察招魂碑由来記

② 第220号（昭和9/3/1）104頁、V221頁

警察今昔譚その一 通訳兼掌漫談

③ 第221号（昭和9/4/1）102頁、V225頁

警察今昔譚その二漫談の考証あれこれ

④ 第223号（昭和9/6/1）57頁、V231頁

警察今昔物語巡閲制度の幾変遷。

付警察物語（註：『警察生活の打明け物語』のこと）の出版の結了報告

⑤ 第224号（昭和9/7/1）74頁、V235頁

閑話三題（職務と命を抛つ覚悟。真の警察美譚。川上余熊氏へのお詫び）

⑥ 第226号（昭和9/9/1）80頁、V240頁

銷夏漫談

⑦ 第227号（昭和9/10/1）95頁、V245頁+別323頁（V不足分補充）

台湾警察の大先輩荒巻（鉄之助）さんと賀来（倉太）さん

⑧ 第229号（昭和9/12/1）73頁、V248頁

斬られた巡査m君との対話

⑨ 第235号（昭和10/6/1）44頁、V251頁

警察座談会の末席を汚して（註：名誉会員温故知新座談会〈二〉に収録）

⑩ 第257号（昭和13/4/1）30頁、V322頁

台湾警察の四十余年を顧みて

- ⑪ 第 292 号（昭和 15/3/1） 40 頁、別 360 頁
聖域に繁れし人々
- ⑫ 第 304 号（昭和 16/3/10） 60 頁、V480 頁
私の職域奉公台湾保甲皇民化読本執筆の趣旨
- ⑬ 第 305 号（昭和 16/4/10） 39 頁、V484 頁
警察界先人の苦勞を偲ぶ—警察記念日（註：4 月 1 日）に当りて

(2) 「茶のみ話」

- ① 第 243 号（昭和 11/2/1） 106 頁、V259 号： (1)
巡査さんの嘆き。悩みは誰にでも。その他。
- ② 第 244 号（昭和 11/3/1） 87 頁、V265 頁： (2)
北埔事件の訓ふるところ
- ③ 第 245 号（昭和 11/4/1） 78 頁、V273 頁： (3)
モザイク時事解説相沢事件以後
- ④ 第 246 号（昭和 11/5/1） 74 頁、V277 頁： (4)
モザイク時事解説相沢事件以後
- ⑤ 第 247 号（昭和 11/6/1） 83 頁、V284 頁： (5)
坂口（不二男）さんの片影
- ⑥ 第 248 号（昭和 11/7/1） 59 頁、V290 頁： (6)
警察試験漫談
- ⑦ 第 252 号（昭和 11/11/1） 36 頁、V296 頁： (7)
郡警分離の問題
- ⑧ 第 253 号（昭和 11/12/10） 50 頁、V301 頁： (8)
警察の官紀漫談
- ⑨ 第 254 号（昭和 12/1/1） 140 頁、V306 頁： (8) 〈ママ〉
小川徹君の栄誉。辞めた役人の話
- ⑩ 第 255 号（昭和 12/2/1） 69 頁、V311 頁： (9)
「理蕃漫談」
- ⑪ 第 256 号（昭和 12/3/1） 92 頁、V316 頁： (10)
警察課、署長、漫談
- ⑫ 第 258 号（昭和 12/5/1） 91 頁、V334 頁： (11)
警察事務の改善漫談

(3) 「道聴塗説」

- ① 第 266 号（昭和 13/1/5） 63 頁、V341 頁
はしがき（漫文執筆のゆはれ）。山下少尉の霊を吊ふ。時局と警察官（出征警察官の憂ひ）。
- ② 第 267 号（昭和 13/2/5） 71 頁、V346 頁

警察と明鏡止水の心境（本島人警察官天与の職分）。人、人、人（時局は人材を要求す）。所謂島民皇民化運動。年賀状廃止の弁。

③ 第 268 号（昭和 13/3/5）42 頁、V352 頁

新聞雑誌の見方（時事に対する徹底的理解）。瀟洒たる州制（〈マ〉、註：「服制」の誤植か？）改正（執行務もふさはしく）。その他。

④ 第 269 号（昭和 13/4/10）142 頁、V358 頁

－刑事警察漫談－愉快的な仕事（司法主任物語り）。警部と警部補の違ひ（刑事課長さんの心得べきこと）。気の毒な刑事さん達（司法主任と肝胆相照してこそ）。市街と村落の違い（受持ち巡査の無関心）。司法警察界現下の問題（心すべき人権蹂躪の弊）。

⑤ 第 270 号（昭和 13/5/5）75 頁、V365 頁

警察沿革誌第二編本を作る苦しみと楽しみ。台湾統治の人柱記録－警察殉職録の編纂。調査資料の完備。旧友平小九郎警部（政党と警察）。台湾警察新選組。

⑥ 第 271 号（昭和 13/6/1）44 頁、V372 頁

錦衣帰郷の成功者（太田利雄君のことども）。これからの時世。巡査初任給引下の拙策。真の皇民化とは何ぞや（片腹痛ひ志願兵建策）。拙書台湾警察四十年史話について。

⑦ 第 273 号（昭和 13/8/10）146 頁、V380 頁

教習班の人々（警察官への適応性?）。外務省巡査部長劉有君（上海活躍の土産話）。「警察精神」潰ゆ警察精神とパンの問題。

⑧ 第 274 号（昭和 13/9/1）84 頁、V385 頁

妻を亡ひしものゝ心境。上下意気の投合。厦門行の警察官。

⑨ 第 276 号（昭和 13/11/5）30 頁、V391 頁

繊細な妻の心がけ（出征警察官の奥さん達に）。最悪の事態を思へ（内地と台湾）。田舎と都会。広い東京の種々相。

⑩ 第 277 号（昭和 14/2/1）51 頁、V397 頁

身分法と警察。噫！堤警部。池田鳴遠氏の昔噺。

⑪ 第 290 号（昭和 15/1/1）98 頁、V450 頁

モーメンタリズム。日本と独逸。後藤伯と警察。

⑫ 第 291 号（昭和 15/2/1）46 頁、V456 頁

正月一日位は?。強力内閣とは何ぞ。深刻な窮乏迫る?。厄介な米国の扱方。山の黄金の行衛?。

⑬ 第 292 号（昭和 15/3/1）34 頁、V462 頁

役所の記録と仕事。司法事務と其の監督。歴史の示すところ?。間違つても金の残る秘訣?。

⑭ 第 298 号（昭和 15/9/10）30 頁、V469 頁

警察官、ご苦労さま。全島保甲協会の結成。算盤に乗らぬ漬職話。訓示漫談。

⑮ 第 300 号（昭和 15/11/10）22 頁、V475 頁

大臣に教へる。判らぬ新体制。大きな国内問題。アメリカが出てくるか。南進政策断じてひかず。官庁の再編成は。

⑯ 第 307 号（昭和 16/6/10）46 頁、V487 頁

フランス敗れたり。日本はこの程度でよいか?。

(4) 「警察界道聴塗説」

- ① 第 280 号 (昭和 14/3/1) 62 頁、V402 頁
警察の真使命漫談。
- ② 第 281 号 (昭和 14/4/10) 59 頁、V408 頁
風当りの強い官僚。所謂官僚排撃論。文官と武官の心構え。吏道刷新の行衛。最後は人の問題。その他。
- ③ 第 282 号 (昭和 14/5/10) 96 頁、V414 頁
栄転せし小林光政氏。本島社会運動史。小牟田君を讃ふ。警察の統制強化。
- ④ 第 284 号 (昭和 14/7/10) 62 頁、V420 頁
むづかしい哉皇民化問題。
- ⑤ 第 285 号 (昭和 14/8/10) 32 頁、V428 頁
物価抑制力の限界?。歴史の示すところ。その他。
- ⑥ 第 287 号 (昭和 14/10/1) 56 頁、V435 頁
人生双六。男一生の真の幸福。古川巡查さん。死んだ私の岳父 (註: 大澤嘉十郎)
- ⑦ 第 289 号 (昭和 14/12/1) 30 頁、V443 頁
古田正武先生 (註: 「吉田」は「古田」の誤植。) を悼む。朝鮮と台湾。警察課長さんの憂鬱。近頃の巡查さん達。

(5) 「ラジオ (ラヂオ) 風景」 (註: ラジオ番組、原案 (作) 鷺巣敦哉、脚色中山侑)

- ① 第 259 号 (昭和 12/6/7) 166 頁、別 324 頁
台湾の警察 (三景)
- ② 第 270 号 (昭和 13/5/5) 62 頁、別 340 頁
或る日の警察 (三景)
- ③ 第 282 号 (昭和 14/5/10) 76 頁、別 353 頁
戦ふ警察 (一景)

IV 『警察生活の打明け物語』 (昭和 9 年 2 月 15 日刊) に見たる『台湾警察協会雑誌』及び『台湾警察時報』該当号

(概目) (『台湾警察協会雑誌』、『台湾警察時報』該当号数)

- ① 練習生の巻 - 1 頁 - 『台湾警察時報』第 14、15、17、20、21、29、48、49、50、51 号
- ② 巡查さんの巻 - 41 頁 - 同上
- ③ 蕃界生活の巻 - 99 頁 - 同上
- ④ 巡查部長さんの巻 - 137 頁 - 『台湾警察時報』第 13、16 号

- ⑤ 甲科生の巻－163 頁－『台湾警察時報』第 14 号
- ⑥ 警部補さんの巻－184 頁－『台湾警察時報』第 52、53、54、55、207 号
- ⑦ 警察講習生の巻－217 頁－『台湾警察時報』第 207 号
- ⑧ 警部さんの巻－239 頁－『台湾警察時報』第 212 号
- ⑨ 司法主任さんの巻－259 頁－『台湾警察時報』第 212、213 号
- ⑩ 高等警察主任さんの巻－285 頁－『台湾警察時報』第 215、216 号
- ⑪ 行政主任さんの蕃山－313 頁－『台湾警察時報』第 217 号
- ⑫ 練習所教官の巻－343 頁－『台湾警察時報』第 46、47 号
- ⑬ 警察課署長さんの巻－369 頁－『台湾警察時報』第???号（新稿か?）
- ⑭ 警察史の編纂に従事して－401 頁－『台湾警察時報』第 215 号
- ⑮ 薄幸なりし愛弟を弔ふ－409 頁－『台湾警察時報』第???号（新稿か?）
- ⑯ 附録練習生全試験問題――（散逸か?）

（参考）『台湾警察時報』第 1 号～第 56 号・（通巻）第 150 号～第 205 号換算表
 第 1 号（昭和 5（1930）年 1 月 1 日刊）－（通巻）第 150 号、2－151、3－152、4－153、
 5－154、6－155、7－156、8－157、9－158、10－159、11－160、12（昭和 5 年 7 月 1
 日刊）－161、13－162、14－163、15－164、16－165、17－166、18－167、19－168、
 20－169、21－170、22－171、第 23 号（昭和 6 年 1 月 1 日刊）－第 172 号、24－173、
 25－174、26－175、27－176、28－177、29－178、30－179、31－180、32－181、33－
 182、34－183、35（昭和 6 年 7 月 1 日刊）－184、36－185、37－186、38－187、39－
 188、40－189、41－190、42－191、43－192、44－193、第 45 号（昭和 7 年 1 月 1 日
 刊）－第 194 号、46－195、47－196、48－197、49－198、50－199、51（昭和 7 年 7 月 1
 日刊）－200、52－201、53－202、54－203、55（昭和 7 年 11 月 1 日刊）－204、56（昭
 和 7 年 12 月 1 日刊）－205、第 206 号（昭和 8（1933）年 1 月 1 日刊）より通巻に戻る。

【附録】本 HP 掲載鷺巣敦哉氏関係資料一覧（令和 4（2022）年 7 月 28 日追加）

・「鷺巣敦哉氏と『台湾総督府警察沿革誌』の編纂について―日本統治下台湾警察史の一齣―」

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/washisu001.pdf>〉

・「鷺巣敦哉氏著作目録抄―日本統治下台湾警察史の一齣―」

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/washisu002.pdf>〉

・『鷺巣敦哉著作集 補遺』（緑蔭書房、平成 26 年 7 月 31 日刊）概要―日本統治下台湾警察史の一齣―」

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/washisu003.pdf>〉

・『鷺巣敦哉著作集』V（「雑誌所収著作」：緑蔭書房、平成 12 年 12 月 10 日刊）、同別
 巻（「警察試験叢書・雑誌所収著作補遺・索引」：同、平成 14 年 1 月 31 日刊）及び『鷺

巢敦哉著作集 補遺 警察試験叢書（続）・雑誌所収著作補遺（続）・索引』（同、平成 26 年 7 月 31 日刊）所収論稿一覧—日本統治下台湾警察史の一齣—」（本稿）

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/washisukiko.pdf>〉

・「鷲巢敦哉氏の諸雑誌寄稿論稿紹介—『鷲巢敦哉著作集』Ⅳ、Ⅴ及び別巻（緑蔭書房、平成 12 年 12 月 10 日刊、同 14 年 1 月 31 日刊）参考資料—」

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/washisuzasshikiko.pdf>〉

・「鷲巢敦哉氏著『台湾統治回顧談（台湾の領有と民心の変化）』（台湾警察協会、昭和 18 年 9 月 20 日刊）・雑誌『台湾地方行政』比較対照表—『鷲巢敦哉著作集』Ⅳ（『台湾統治回顧談（台湾の領有と民心の変化）』：緑蔭書房、平成 12 年 12 月 10 日刊）参考資料— —日本統治下台湾警察史の一齣—」

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/washisukaiko.pdf>〉

・「東方孝義・鷲巢敦哉両氏共編『警察語学試験問題及解答集』（警察試験叢書第四編、自己出版、昭和 10 年 11 月 30 日刊）の再発見 —日本統治下台湾警察語学教養の一齣—」

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/higashikata001.pdf>〉

・「鷲巢敦哉氏『警察試験叢書第一編・向上受験の手びき 附 全警察試験問題』及び台湾総督府警察官及司獄官練習所『練習生必携』（昭和 19 年 1 月刊）一瞥 —最近台湾再発見の日本統治下台湾警察史関係希覯書二題— —日本統治下台湾警察史の一齣—」

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/washisutebiki.pdf>〉

・「村上収氏の御逝去を悼みて—『台湾総督府警察沿革誌 第二編 領台以後の治安状況 中巻 —台湾社会運動史—』編纂過程の究明によせて— —日本統治下台湾警察史の一齣—」

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/murakami001.pdf>〉

・「木村貞次郎氏台湾語関係著作目録抄—日本統治下台湾警察語学教養の一齣—」

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kimura001.pdf>〉

（了）